

春の火災予防運動

3月1日から
3月7日まで

女性防火クラブだより

発行所：岐阜市女性防火クラブ運営協議会事務局
〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目9番地
電話：058-262-7163
平成27年3月1日号
(通算第32号)

もういいかい 火を消すまでは 平成26年度 全国統一防火標語 まあただよ



もういいかい
火を消すまでは
まあただよ

三月一日から一週間、全国一斉に春の火災予防運動が行われます。この運動は、火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図るなどを目的に、毎年実施されるものです。

今年度の全国統一防火標語は『もういいかい 火を消すまでは まあただよ』です。火災予防運動期間中には、全国各地で防火に関する様々な行事が行われます。

岐阜市消防本部では、岐阜市危険物安全協会、岐阜市防火協会の協力を得て、火災予防啓発ポスターを約七千枚作成し、市内の関係機関、主要事業所などに配布して火災予防を呼び掛けます。



平成二十三年六月一日からすべての住宅に義務化となつている住宅用火災警報器の岐阜市消防本部管内における設置率は、昨年六月時点で七十五%となつています。未設置のお宅はすみやかに設置しましょう。

そして、この機会に是非、あなたの大切な家族・財産を守るため、ご家庭でも火災予防について考えてみましょう。

平成二十六年に岐阜市内で発生した火災の総件数は百四十七件で、前年の百八十一件と比べると三十四件減少しました。

出火原因は「たばこ」が二十七件で最も多く、「こんろ」が二十件、「たき火」十八件、「放火・放火の疑い」が十七件の順となりました。

火災による死者は、前年より四人増加し、八人でした。

住宅火災による死者(放火自殺者を除く)は六人で、四人が六十五歳以上の高齢者でした。

火災による負傷者は、二十九人で前年と比べて九人増加しました。

火災件数の内訳は、建物火災が、八十二件と最も多く発生しました。

火災による損害額は、約一億三千六十七万円で、一日あたり約三十六万円の財産が焼失したことになります。

平成二十六年 岐阜市火災概要



空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。大切な家族や財産を守るためにも、火災を無くして安心・安全な街をつくりましょう。

住宅防火 いのちを守る

7つのポイント

・三つの習慣・四つの対策・

三つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

四つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

各地区の女性防火クラブから

「二年間を振り返って」

徹明女性防火クラブ

会長 鷺見 民枝

私たちの住む徹明地域は、岐阜市の中心に位置し、年々高齢化が進んでいる地域ですが、各団体が協力し、まとまった地域だと思いません。

その中で、私たち女性防火クラブ員の二十一名は、毎月一回火災予防対策として夜の巡回を担当制で行っています。

巡回当初は、家の外などにゴミ袋や段ボール等が置いてありましたが、放火やいたずらをされるといけないので注意しながら歩いていくうちに、ここ数年は見当たらなくなり、効果が出て大変良かったと思います。

また、消防団の方と協力し、防災訓練に参加しました。昨年は約三百五十名が参加し、私たちクラブ員は消防署の方の指導により、心肺蘇生法、AED取扱い訓練、日赤奉仕団指導の三角巾取扱い訓練も実施しました。また、空き缶コンロ炊飯講習を実施してご飯を炊き大変好評でした。今年

公民館の中で約六十名参加し、「昼間と夜間」「屋内と屋外」等の色々な場面を想定し、クイズゲーム感覚で防災力を高める「頭脳の防災訓練」（頭脳訓練）を実施しました。その後の反省会では、学校に避難して来た身体の弱い方や、ペットを連れて来た方への対応についてなど、思いもよらない意見が次々と出て、今後の課題としてよい勉強になりました。様々な訓練を重ねて、私たち女性防火クラブ員も微力ながら地域のために前向きに頑張っていきたいと思えます。



徹明地域夜間巡回

「地域防災訓練に参加して」

加納東女性防火クラブ

会長 松原 逸子

私達の地域では、毎年九月の第一日曜日に岐阜南消防署の協力のもと、地震災害の発生を想定した防災訓練を実施しています。

今年度は、九月七日に加納東地域にお住まいの方々、約八百名の参加を得て、初期消火訓練、救出救護訓練、心肺蘇生訓練、炊き出し訓練、消防訓練、水防訓練を行いました。

女性防火クラブでは、加納小学校六年生の希望者二十名と各分団より女性一名の方々にお手伝いをいただき、白米と炊き込みご飯、二種類の炊き出し配布を行いました。

非常食白米の作り方は、プラスチックで作った使い捨ての軽量カップで米、水を量り小梅とともに専用のハイゼックス炊飯袋に入れます。空気をしっかり抜き、輪ゴムで留めて大きい鍋でゆで上げると出来上がりです。

炊き込みご飯の作り方も簡単です。材料が入っていた段ボール箱が容器になります。米と具の素

を袋に入れ、よくかき混ぜお湯を入れて三十分ほど待てばおいしい炊き込みご飯が出来上がり、参加された方々にお渡しし、喜んで頂きました。

普段の生活ではなかなか体験することのない非常食の炊き出しを実際に行ってみることで、もしもの災害に備えることが出来ます。これからも皆様のご協力を頂きながら女性防火クラブ活動を続けていきたいと思えます。



平成27年 岐阜市消防出初式

寝室・階段（寝室が2階以上の場合）に
住宅用火災警報器を必ず設置してね！



岐阜市消防本部オリジナルキャラクター
住警器くん